

生ごみ処理容器分類表

方式	種類	価格	ランニングコスト	設置場所	使用方法	手軽さ	におい	虫		堆肥化	処理			メリット	デメリット											
								発生	対処法		○	△	×													
バイオ式	設置型コンポスト	3,000円～16,000円程度	かからない (防臭剤や害虫の駆除剤などを購入しない場合)	庭、畑	庭や畑に埋めて設置する。生ごみを入れて、土をかぶせる。	○ (手軽)	△ (夏場はきつい)	△ (わきやすい)	生ごみにきちんと土をかぶせ、しっかり混ぜる。	◎				・微生物の力で堆肥化できる。 ・容量が大きいので、生ごみをたくさん処理できる。	・冬は処理するのに時間がかかる。 ・畑など設置するスペースが必要。 ・においや虫が発生する。											
	設置型コンポスト (キエーロ)	13,000円～16,000円程度	かからない (中の土を堆肥代わりに使用した場合は補充が必要)	庭、畑 (ベランダに置けるものもある)	風通し、日当たりのよい場所に設置する。ふたを開けて生ごみを入れ、よく土と混ぜ合わせる。	○ (手軽)	◎ (ほぼしない)	○ (わきにくい)	生ごみにきちんと土をかぶせ、しっかり混ぜる。	◎				・微生物の力で堆肥化できる。 ・しっかり土をかぶせることで臭いがしない。 ・ランニングコストがかからない。	・冬は処理するのに時間がかかる。 ・スコップでかき混ぜる必要がある。											
	ダンボールコンポスト	1,000円～3,000円程度 (基材代含む)	年間数千円 (基材代)	ベランダ (屋根のある屋外)	ダンボールや専用バッグに基材を入れ、屋根のある場所に設置する。生ごみを入れて、スコップなどでよくかき混ぜる。これを約2ヵ月繰り返し、水を入れ3週間ほど熟成させると、堆肥となる。	○ (手軽)	○ (あまりしない)	○ (わきにくい)	中身をしっかりと混ぜる。使わないときは封をしておく。	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご飯</li> <li>・小麦粉 (パン、麺類)</li> <li>・肉類</li> <li>・魚類 (内臓も可)</li> <li>・野菜</li> <li>・廃油</li> <li>・腐った生ごみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卵の殻</li> <li>・柑橘類の皮</li> <li>・魚の骨</li> <li>・キャベツの芯</li> <li>・玉ねぎの皮</li> <li>・にんにくの皮</li> <li>・タケノコの皮</li> <li>・トウモロコシの皮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貝殻</li> <li>・塩分の強い調味料 (醤油、味噌など)</li> <li>・鶏、牛、豚の骨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・微生物の力で堆肥化できる。</li> <li>・ダンボールを使うので初期費用が安い。</li> <li>・手軽に始めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬は処理するのに時間がかかる。</li> <li>・ダンボールを組み立てる手間がかかる。</li> <li>・最長でも半年ほどでダンボールを交換する必要がある。</li> <li>・スコップでかき混ぜる必要がある。</li> </ul>											
	バッグ型コンポスト																								<ul style="list-style-type: none"> <li>・微生物の力で堆肥化できる。</li> <li>・デザインがおしゃれ</li> <li>・コンパクトなため、場所をとらない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬は処理するのに時間がかかる。</li> <li>・少しづつしか入れられない。</li> <li>・スコップでかき混ぜる必要がある。</li> </ul>
	ハンドル式コンポスト	25,000円程度														ベランダなどの屋外 キッチンなどの室内	上記とほぼ同じ。混ぜる際にハンドルを回せばいいので、スコップなどがいらぬ。	○ (手軽)							<ul style="list-style-type: none"> <li>・微生物の力で堆肥化できる。</li> <li>・室内に置くことができる。</li> <li>・ハンドルを回してかき混ぜるので手が汚れない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬は処理するのに時間がかかる。</li> <li>・バイオ式には初期費用が高い。</li> </ul>
	密閉型コンポスト	3,000円程度	年間数千円 (米ぬかなどのぼかし代)	室内	生ごみを入れて、米ぬかなどのぼかし肥料を入れる。容器が一杯になったら2週間ほど発酵させると、堆肥の素ができる。(堆肥の素は土と混ぜて1ヵ月程度置くと堆肥になる)	△ (コツがある)	△ (夏場はきつい)	◎ (ほぼわかない)		○ (堆肥の素ができる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜くず</li> <li>・果物くず</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肉類、魚類</li> <li>・卵の殻</li> <li>・貝殻</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水分の多いもの (カレーなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・微生物の力で堆肥化できる。</li> <li>・密閉式のため虫が発生しづらい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の管理が必要。</li> <li>・ぼかし代が必要。</li> <li>・においが発生することがある。</li> </ul>											
乾燥式	電動生ごみ処理機	20,000円～110,000円程度	年間数千円 (電気代)	キッチンなどの室内	生ごみを入れて、機械のスイッチを押す。数時間後乾燥した生ごみが出来上がるので取り出す。	◎ (とても手軽)	○ (香ばしいにおい)	○ (わきにくい)	生ごみを入れる場所を清潔にしておく。	△ (堆肥化できるものもある)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご飯</li> <li>・麺類</li> <li>・肉、魚類 (骨、内臓も可)</li> <li>・野菜くず</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お菓子、果物など糖分を多く含むもの</li> <li>・カレーなどペースト状のもの</li> <li>・油分を多く含んだ揚げ物</li> <li>・そのままの野菜など大きなもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルコール類</li> <li>・小麦粉などの粉類</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ箱感覚で手軽に使える</li> <li>・季節に関係なく、安定して処理できる。</li> <li>・室内に設置でき、においや虫が発生しづらい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオ式に比べると、ごみが残ってしまう。</li> <li>・電気代がかかる。</li> <li>・処理中は生ごみを追加できない。</li> </ul>											
	バイオ式×乾燥式	ハイブリッド式生ごみ処理機	130,000円程度	年間数千円 (電気代、基材代)	キッチンなどの室内	生ごみを入れて、機械のスイッチを押す。乾燥式と違い、微生物が分解するため、取り出す必要がない。数ヵ月に1回、中のバイオ材を交換する。	◎ (とても手軽)	◎ (ほぼしない)	◎ (ほぼわかない)		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご飯</li> <li>・小麦粉 (パン、麺類)</li> <li>・肉類</li> <li>・魚類 (内臓も可)</li> <li>・野菜</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卵の殻</li> <li>・柑橘類の皮</li> <li>・魚の骨</li> <li>・鶏の骨</li> <li>・キャベツの芯</li> <li>・玉ねぎの皮</li> <li>・にんにく、タケノコ、トウモロコシの皮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貝殻</li> <li>・塩分の強い調味料 (醤油、味噌など)</li> <li>・牛、豚の骨</li> <li>・汁物 (鍋、味噌汁など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・微生物の力で堆肥化できる。</li> <li>・ごみ箱感覚で手軽に使える。</li> <li>・季節に関係なく、安定して処理できる。</li> <li>・室内に設置でき、においや虫が発生しない。</li> <li>・バイオ式より早く処理できる。</li> <li>・乾燥式より電気代が安い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期費用が高い。</li> <li>・電気代がかかる。</li> </ul>										